

北海道地域活動 だより

第26号
発行日：令和2年7月

発行
(公財)北海道地域活動振興協会
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟
TEL:011-261-0803 FAX:011-261-0837

令和2年度協会事業のご案内

令和2年度助成事業の募集を開始しています。いずれも応募締め切りは7月31日(金)です(当日消印有効)。
各事業の要綱・申請書等詳しくは協会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください(ダウンロード可能です)。

ボランティア活動への助成 ボランティア活動支援事業

今年度の「ボランティア活動支援事業」は、下記のとおり実施しています。(上限3万円、200団体を目標)

●助成対象事業

- (1)福祉や保健、医療の増進
- (2)社会教育の推進
- (3)まちづくりの推進
- (4)文化、芸術、スポーツの振興
- (5)環境の保全
- (6)国際協力の推進
- (7)子供の健全育成
- (8)その他(上記以外のボランティア活動)

●助成対象団体(以下の要件を満たす団体)

- (1)道内に住所又は活動の本拠を有していること。
- (2)道内でボランティア活動を1年以上(※)継続して実践していること。

※基準日は令和2年4月1日とする。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止や支援などに取り組む団体については、活動期間が1年未満でも、助成対象とします。

●助成金額及び助成件数

助成金額は一件につき3万円(※)を限度とし、助成件数は予算の範囲内(200団体目標)。

※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止や支援など、新型コロナウイルスに関連する事業で申請する場合には、助成額は上限5万円です。

●助成対象経費

ボランティア活動に要する費用とします。

(P3「インフォメーション」で今年度の「助成対象経費・助成対象外経費一覧」を記載しておりますのでご参照ください。)

●対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月12日

まちづくり活動への助成 まちづくり推進活動支援事業

活力のあるまちづくり活動の振興を図るため、行政とのパートナーシップにより、新しい時代に相応しいネットワークづくりをめざした活動に対し助成いたします。

(上限25万円、14団体程度)

●助成対象事業

市町村、道、国とのパートナーシップにより、新しい時代に相応しいネットワークづくりを目指す次の事業

- (1)地域に埋もれている素材などを活用し、広く住民の参加を得ながら進める地域活性化の取組
- (2)先進事例を参考に、住民のさまざまな知恵や工夫を反映させながら進める地域活性化の取組

●助成対象団体

道内に住所又は活動の本拠を有し、道内で地域活動を1年以上(※)継続して実施している団体。

※基準日は令和2年4月1日とする。

ただし、次の団体は対象としない。

- (1)地方公共団体及びこれに準ずる団体
- (2)営利や政治、宗教を目的としている団体
- (3)定められた期限内に所轄庁へ事業報告書等を提出していない特定非営利活動法人

●助成件数及び限度額

助成件数は14団体程度とし、一件につき25万円を限度。

●助成対象経費

助成対象の経費は、まちづくり活動に要する費用。

ただし、次に掲げる経費は除く。

- (1)人件費(講師等の謝金は助成対象経費)
- (2)備品購入費
- (3)管理費(事務所借上料等団体の運営、管理に係る経費)
- (4)食料費(事業で提供する食事の原材料費は除く)

●対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月12日

令和元年度 事業実施報告

まちづくり推進活動支援事業

新しい時代にふさわしいネットワークづくりをめざし、将来まちづくりの中核となって活動する人材を育成するため、まちづくり推進活動支援事業として自発的・継続的に活動に取り組む団体に対し、活動費の一部を助成しました。

市町村	団体名
札幌市	一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ
札幌市	一般社団法人札幌経済交流・留学生支援機構
札幌市	NPO法人「飛んでけ！車いす」の会
札幌市	NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト
札幌市	もしも北海道
函館市	函館認知症の人を支える会
小樽市	一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟
寿都町	寿都まちづくり協議会
深川市	NPO法人アートステージ空知
富良野市	富良野メセナ協会
美幌町	NPO法人マイスペース美幌
浦幌町	NPO法人うらほろスタイルサポート
釧路市	くしろ高齢者劇団
中標津町	なかしべつ町民活動ネットワーク



▲一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟(小樽市)
～国際スポーツ雪かき選手権の様子～



▲富良野メセナ協会(富良野市)～科学を楽しむワークショップの様子～

ボランティア活動支援事業

ボランティア活動の実践団体、231団体に対して活動費を助成した他、「ボランティア愛ランド北海道2019」に協賛し、スタッフジャンパーを寄贈しました。

圏域	団体数	圏域	団体数
札幌市	37団体	根釧圏	13団体
道央圏	110団体	道北圏	25団体
道南圏	21団体	オホーツク圏	5団体
十勝圏	20団体	計	231団体



▲苫小牧BBS(苫小牧市)～作品製作の風景の様子～

環境美化運動の推進

北海道クリーン作戦推進会議を構成する関係機関・団体と連携し、令和元年10月8日(火)、札幌駅南口広場及びアピア地下街にて「ポイ捨てゼロの日」街頭啓発を実施しました。



コミュニティ再生事業

地域における住民の自主・連帯・協働によるコミュニティ再生や、これらを担う人材を育成することを目的に、コミュニティやまちづくり活動、NPOなどの地域活動に関心のある方等を対象にした講座など、千歳市、北斗市、東川町で開催しました。



▲テーマ「行動に役立つコミュニケーション」 共催:千歳市、北斗市



▲テーマ「大雪山の価値を活かすためのフォーラム」 共催:東川町

情報提供事業

協会のホームページでは、道内外の助成金やイベントなど地域活動に関する情報を紹介しています。

また、道内のボランティア団体等の情報について、活動分野別・地域別に検索できる「ボランティア情報提供システム」の運用を図りながら、ボランティアのネットワークを広めています。

◆ 団体登録のお願い ◆

道内のボランティア団体等の皆様に、「ボランティア情報提供システム」の団体登録をお願いしております。

登録は協会ホームページから行うことができます。

ボランティア情報提供システムの特徴

- ボランティア情報提供システム登録団体の情報を活動分野別・地域別に検索・閲覧することができます。
- ボランティア募集情報を活動分野別・地域別に検索・閲覧することができます。
- 団体登録すると、活動をPRできるほか、団体自身でボランティア募集情報を発信することができます。
- 助成金情報やイベント等情報を提供いたします。
(メールアドレスを登録している団体のみ対象)

ボランティアに関心のある方は、協会ホームページの「ボランティア情報提供システム」からボランティア団体の情報やボランティア募集情報を検索できます。

また、今年度より「Facebook」を始めましたので、是非ご覧ください。

[URL] <http://www.fureaizaidan.or.jp/>

インフォメーション

毎年、実施しているボランティア活動支援事業のアンケート調査の意見に基づき、令和2年度ボランティア活動支援事業の「助成対象経費・助成対象外経費一覧表」を更新しましたので、お知らせいたします。

●令和2年度ボランティア活動支援事業助成対象経費・助成対象外経費一覧

助成対象経費

科目	内容	科目	内容
謝金等	講師等の謝金(交通費を含む) 助成金上限は15,000円以内とする	印刷費	事業に必要な資料及びチラシなどの印刷費
		通信運搬費	事業に必要な切手・ハガキ代、機材等の運送費など
交通費	事業又は準備のための交通費	使用料	会場となる施設の使用料や事業に必要な機械等のレンタル費など
消耗品費	事業に必要な事務用品や材料費、食材等購入費など		
備品購入費	助成対象事業に必要不可欠でかつ用途が特定された機器等の購入費。助成上限は15,000円以内とする(※)	その他	上記費目以外でボランティア活動に必要と認められる経費

助成対象外経費

科目	内容	科目	内容
人件費	構成員に対する給料、各種手当、社会保険料など	交際費 慶弔費	構成員を対象とした親睦旅行や研修旅行などの費用 構成員に対する祝金・見舞金・香典など
備品購入費	単価が15,000円以上で、かつ助成対象事業以外でも使用できる、汎用性の高い機器等の購入費(※)		
管理費	事務所の借上料や水道光熱費、電話料金(※)など	景品・記念品	他者・他団体に対する景品や記念品、贈答品、お土産などの購入費。ただし、団体が作製する景品や記念品、贈答品などの材料代は消耗品費として扱います。
食料費	構成員に対する飲み物代や弁当代、菓子代など		
研修費	構成員が参加する研修会等の参加費や交通費など		

※活動内容によっては、助成対象経費と認められる場合がありますので、事務局までご相談ください。

(公財)北海道地域活動振興協会 理事・監事・評議員名簿

氏名	現職	備考
【理事】(9名)		
高田 忠尚	(公財)北海道地域活動振興協会理事	理事長
秋葉 聡志	(公財)北海道YMCA総主事	
追出町 勝治	(公財)北海道地域活動振興協会理事	
工藤 隆男	北海道地域づくりネットワーク推進協議会会長	
久保田 聡	(公財)北海道地域活動振興協会理事	常務理事
菅原 浩信	北海学園大学経営学部教授	
中川 淳二	(社福)北海道社会福祉協議会常務理事	
南原 一晴	(公財)北海道地域活動振興協会理事	副理事長
山城 えり子	NPO法人旅とびあ北海道福祉統括責任者	
【監事】(2名)		
川崎 昭博	(公財)北海道消防協会総務課長	
舟橋 健市	舟橋公認会計士事務所長	

氏名	現職	備考
【評議員】(10名)		
井上 宏子	(公財)北海道地域活動振興協会評議員	
猪股 幸恵	北海道青年団体協議会事務局長	
大木 光恵	(社)ガールスカウト北海道連盟顧問	
奥田 龍人	NPO法人シーズネット理事長	
坂井 信	(財)北海道老人クラブ連合会常務理事	
柴田 達夫	北海道町村会常務理事	
武野 伸二	(社)北海道消費者協会専務理事	
中村 陸男	(社)北海道町内会連合会副会長	
平間 育子	北海道女性団体連絡協議会会長	
吉澤 政昭	北海道市長会事務局長	

(令和2年7月現在)

令和元年度 収支決算概要

正味財産増減計算書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

区分	協会事業	指定管理事業	合計
経常収益			
1 特定資産運用益	10,748,004		10,748,004
2 受取会費	2,148,594		2,148,594
3 受取補助金等	23,156,316		23,156,316
4 受取負担金等		27,973,410	27,973,410
経常収益計	36,052,914	27,973,410	64,026,324
経常費用			
1 事業費	39,969,717	29,207,851	69,177,568
2 管理費	2,117,105		2,117,105
経常費用計	42,086,822	29,207,851	71,294,673
経常増減額	△6,033,908	△1,234,441	△7,268,349
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△849,026	849,026	0
当期一般正味財産増減額	△6,882,934	△385,415	△7,268,349
一般正味財産期首残高	33,811,674	385,415	34,197,089
一般正味財産期末残高	26,928,740	0	26,928,740
指定正味財産期末残高	780,646,880	0	780,646,880
正味財産期末残高	807,575,620	0	807,575,620

※正味財産増減計算書内訳表を要約したものです。

公益財団法人 北海道地域活動振興協会

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟 3階

TEL.011-261-0803 FAX.011-261-0837

U R L <http://www.fureaizaidan.or.jp/>

E-mail fureai@fureaizaidan.or.jp

●交通アクセス

JR 札幌駅下車南口から徒歩約10分

地下鉄 南北線・東豊線「さっぽろ駅」下車10番出口から徒歩約7分

▼ホームページ



北海道立市民活動促進センター

設置者:北海道(環境生活部くらし安全局道民生活課)

指定管理者:(公財)北海道地域活動振興協会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 8階

TEL.011-261-4440 FAX.011-251-6789

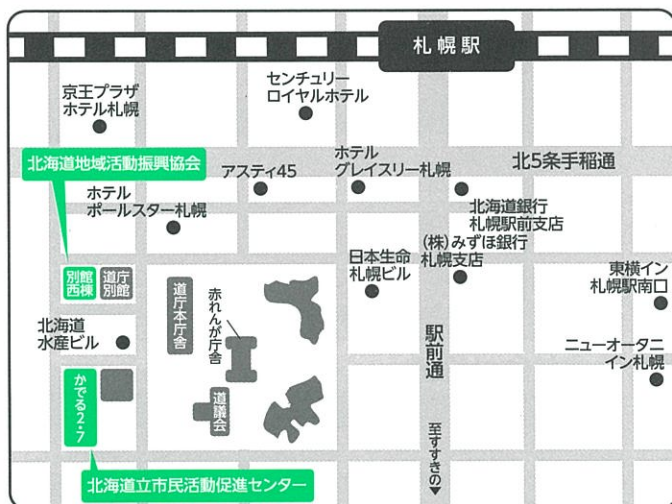
U R L <http://www.do-shiminkatsudo.jp/>

E-mail center@do-shiminkatsudo.jp

●交通アクセス

JR 札幌駅下車南口から徒歩約13分

▼ホームページ



～賛助会員加入のお願い～

当協会の目的と事業運営にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。会費は次の通りです。

- 個人会員(年額1口) 1,000円
- 団体会員(年額1口) 5,000円
- 市町村会員(年額1口) 10,000円
- 企業会員(年額1口) 10,000円